

# 新年のごあいさつ



阿久比町長  
舟内啓二

新年明けましておめでとござい  
ます。  
皆さまにおかれましては、輝かし  
い新春をお迎えになられたことお  
慶び申し上げます。

## 暁鐘

今年の題字は「暁鐘（ぎょうしよ  
う）」といたしました。夜明けに鳴ら  
す鐘という意味です。

昨年は東日本大震災が我が国を襲  
い、私たちを心の底から震撼させま  
した。被害も未曾有のもので、お亡  
くなりになった方の霊も生存者も、  
帰る我が家を無くし、故郷さえも失

われてしまいました。この悲しい出  
来事を思うと、今年も新年をいつも  
のようにお祝いすることもはばかれ  
る気がいたします。被災者の皆さま  
のご冥福をお祈りすることも、お  
見舞い申し上げます。

太陽は必ず東から昇り朝を迎えま  
す。私たちは、今こそ夜明けを告げ  
る鐘を力強く鳴らす時だと思いま  
す。その思いを込めて、「暁鐘」とした  
めました。

## 二〇二二年は「辰年」

今年の干支は辰（竜）です。十二  
支にはそれぞれ動物が当てはめられ

ていますが、竜だけが唯一実在して  
いない動物です。その姿は摩訶不思議  
で、水墨画では雲の台間から顔や  
手爪や鱗が描かれて、体全体は隠さ  
れており、より一層大きな存在とし  
て私たちの想像をかき立ててくれま  
す。天に登り雷雲を呼び雨を降らす  
ことから、日本では竜神様と呼ばれ  
水の神様としての信仰があり、強く  
農耕文化と結びついています。

今こそ愛知用水のお陰で私たち  
は干ばつの心配をしなくて済んでい  
ますが、過去には知多半島に一万を越  
すため池があつたように、水不足のた  
びに竜神様へ雨乞いを行っていたも  
のと思います。阿久比町が米作りに適  
していたのは、阿久比川を擁し田に水  
を引くことができたからではないで  
しょうか。そのように考えますと蛇行  
する阿久比川が竜に見えてきます。

## 景気

昨年は、震災により日本経済は大  
打撃を受けました。津波の破壊力が及  
び、部品の調達不足や電力不安など  
による生産の低下があり、小売や  
サービス業も消費の低迷により経済  
は冷え込んでしまいました。一方、  
世界経済ではユーロ圏の金融危機で  
円高が進み為替レートが最高値をつ  
けるなどマイナス要因が多くありま  
した。そのような中にあっても、我  
が国は震災復興を旗印に景気を持ち  
直しに努力を重ね、落ち着いてきま

した。私は、必ずや復興も景気回復  
もされるものと信じています。

町の発展と活力は、その町の人口  
動向が重要になってきます。昨年十  
二月一日現在で本町の人口は二万六  
千四百八十九人となり、現在も増加  
中であります。自然環境の良さと生  
活のしやすさが人口の増加要因と  
なっているものと思います。

循環バスの利用も当初予測よりも  
多く、好評をいただいています。よ  
り利用しやすい皆さまの公共交通と  
なるよう改善を進めてまいります。  
います。

新保育園建設は、現在造成工事を  
進め、今年には園舎建設に入り、平成  
二十五年の開園を目指します。

また、新庁舎建設に向けても着々  
と準備が進んでいます。間もなく建  
設基本構想が告示できる予定で  
すので楽しみにしててください。

住宅開発では、陽なたの丘の第二  
期造成工事が始まりました。新しい  
街が増えてくる光景は希望に満ちて  
おり、人口増加にも期待が持てます。

これからも『みどり』と共生する快  
適生活空間「あぐい」を目指して「安  
全・安心・安定」を基本に、ホテル  
と共生できる、利便性の良い快適な  
町づくりを進めてまいりますので、  
本年もどうぞよろしくお願ひ申し  
上げます。